

観世九臈会

かんぜきゅうこうかい



二月 定例会

Noh Kyogen
KANZE KYUKOHKAI
13 February.2022(sun)
Yarai Noh Stage

令和4年2月13日(日)
於 矢来能楽堂

【第1部】12:30開演(12:00開場)

14:50終演予定

—客席入れ替え—

【第2部】15:30開演(15:00開場)

17:30終演予定

※第2部のみ前年と開演時間が変更となります。ご注意ください。

主催：公益社団法人 観世九臈会



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

感染予防にご協力をお願いいたします。

◆ ご来場の際のお願い

- ・体調不良の方は、当日でもご来場をお控え下さい。
- ・ご入場の際は必ずマスクをご着用ください。
- ・入口にて手指のアルコール消毒と検温にご協力下さい。
- ・37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
(上記にご協力いただけない方には、ご入場をお断りいたします。)
- ・上記にて入場不可となった方へは、ご事情を伺った上で、払い戻しをさせていただきます。チケットを半券ともにご保管の上、ご連絡下さい。

◆ 会場内でのお願いなど

- ・喫茶室は閉室しております。場内でのお食事はご遠慮下さい。
- ・場内のウォーターサーバーは、使用停止とさせていただきます。
- ・水分補給のためのお飲み物は、ご持参ください。
- ・換気のため、お席によっては空調が強く当たるところがございます。
ご自身にて上掛け等をご持参ください。
- ・出演者へのご面会、お差し入れは当面の間、ご遠慮ください。

・矢来能楽堂のお手洗いは数が大変に限られております。なるべくご来場前にお済ませ頂き、ご利用の際は間隔をあけてお並びください。

◆ 上演にあたってなど

- ・上演中も、マスクの着用をお願いいたします。
- ・舞台上も出演者の感染予防対策を講じた形式での上演とさせていただきます。
- ・公演の前後および休憩中には外気を入れ、会場内の換気をいたします。
- ・場内換気のため、上演中もロビーとの扉は開けさせていただきます。
- ・1部、2部とも続けてご覧になる方も、一旦退館をお願いいたします。
- ・万一、来館者ならびに出演者・スタッフに感染が疑われる者が後日、発生した際は、所轄の保健所へご来場者様情報を提出させていただく場合がございます。

このほか、矢来能楽堂ホームページにて、「矢来能楽堂における感染予防措置」をご確認の上ご来場ください。

皆様の健康と安全を第一に考えて実施したしております。

ご不便をおかけすることもございますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

矢来能楽堂・公益社団法人 観世九臈会

全指定席(各部)

正面席 5,500円 / 脇正面・中正面席 4,400円

学生券(脇正面・中正面) 2,200円 ※学生券は26歳未満(要学生証) 未就学児入場不可

1部2部通しセット(脇正面・中正面のみ) 7,800円

矢来能楽堂のみ取扱い

〔注意事項〕

- ・記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- ・許可のない録音・撮影は一切禁止です。
- ・携帯電話は電源からお切りください。
- ・演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。
場合によっては退場していただく場合がございます。

新型コロナウイルスの感染状況や行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新等に伴い、内容に変更がでる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式ツイッターなどで随時お知らせいたしますので、ご来館時などには必ずご確認くださいませようお願いいたします。

能・狂言
観世九臈会
矢来能楽堂

162-0805 東京都新宿区矢来町60

【お申込み・お問合せ】

矢来能楽堂・観世九臈会

電話：03-3268-7311 FAX：03-5261-2980

メール：yarai@eos.ocn.ne.jp

http://yarai-nohgakudo.com/



カンフェティチケットセンター

(WEB予約後セブンイレブンで発券)

電話：0120-240-540

表紙写真「真角」撮影：青木信二

能楽書林

権藤芳一著
『能楽手帖』



簡潔な解説で携帯にも便利な能楽鑑賞事典。見聞き一曲で、上演頻度の高い一三〇曲を厳選して収録。曲ごとに、あらすじ・みどころ・作者・素材・各流の小書きなどが書かれ、観能の手引に最適な書。巻末に用語解説も付す。
新書判・三〇二頁
本体一四〇〇円十税

柳沢新治著

『横からみた能・狂言』

長年、NHKの能楽放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送回らばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」・心に残る人々との思い出の随想「出会いと別れ」・能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。
四六判・二三三頁
本体二〇〇〇円十税

ご注文・お問合せ

能楽書林 九段下駅徒歩すぐ
☎ 03-32664-0846
FAX 03-32664-0847
メール shoin@mercury.plala.or.jp

観世九阜会 二月定例会

令和四年二月十三日(日) 於 矢来能楽堂

【第一部】 十二時三十分開演(正午開場)

番組

巴 桑田 貴志
河井 美紀
遠藤 和久
弘田 裕一
長山 耕三

仕舞 車之段 観世 喜之
鐘 尫 中森 貫太

休憩五分

(十二時五十分頃)

龍神 奥川 恒成
天女 石井 寛人
前ツレ 金子 仁智翔

能 白鬚
Shirahige シテ 観世 喜正

ワキ 大日方 寛 大鼓 柿原 孝則 太鼓 小寺 真佐人
ワキツレ 御厨 誠吾 小鼓 田邊 恭資 笛 竹市 学
ワキツレ 野口 琢弘
間 中村 修一

後見 永島 充
遠藤 喜久

中森 健之介
坂 真太郎
中所 宜夫
鈴木 啓吾
桑田 貴志

【第二部】 午後三時三十分開演(午後三時開場)

番組

狂言 鐘の音 シテ 野村 万作 アド 岡 聡史
Kaenome 後見 月崎 晴夫

休憩十分

(午後四時頃)

子方 新井 弘悠
シテ 新井 麻衣子

能 船辨慶
Fundanbenkei

ワキツレ 矢野 昌平 大鼓 柿原 光博 大鼓 梶谷 英樹
ワキ 福王 和幸 小鼓 清水 和音 笛 高村 裕
ワキツレ 村瀬 慧
間 内藤 連

後見 奥川 恒治
永島 忠修

地謡 長山 耕三
佐久間 二郎
駒瀬 直也
遠藤 和久
小島 英明

附祝言

(終演予定 午後二時五十分)

(終演予定 午後五時三十分)

《あらすじ》

能 白鬚
しら ひげ

春の頃、天皇の勅を受けて琵琶湖の畔にある白鬚神社へやってきた臣下の前に、漁師の老翁と若い男が現れる。老翁は比叡山の縁起を語ると、我こそ白鬚明神であると明かして社壇へと入っていった。末社の神が神社の来歴を語り舞を舞って臣下をもてなすと、社壇の扉が開いて白鬚明神がその姿を現す。明神が舞を舞う折節、空が輝き湖が轟いて、天女と龍神が現れる。天燈・龍燈を神前に供え、迎りは一層神秘的な様相を見せる。

狂言 鐘の音
かね ね

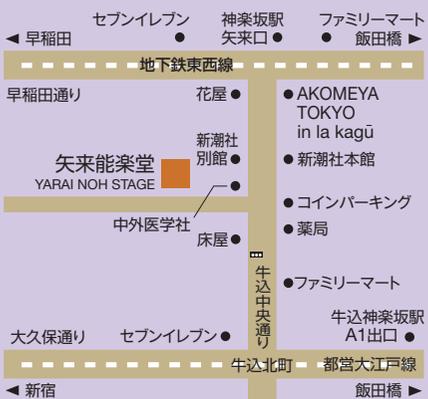
主人は息子の元服に際し黄金作りの太

刀を贈ろうと考え、太郎冠者に鎌倉へ行って「金の値」を聞いてくるよう命じる。冠者はそれを「鐘の音」と勘違いし、寺を巡って鐘の音を聞き、主人に報告するが…

能 船辨慶
ふな べん けい

兄・源頼朝との不和により、源義経一行は都を出て西国へ向かい、摂津国大物浦に着く。弁慶が義経の愛妾である静御前を都に返すよう進言し、静御前は名残を惜しみつつ別れの酒宴にて舞を舞う。一行は静御前と別れて船を出す。天気が急変し風に見舞われる。海には平家一門の亡霊が浮かび上がり、平家の大将・平知盛の亡霊が義経に襲い掛かる。

前段の切なくも優美な場面から、一気に激しく恐ろしい場面が展開される。非常に劇的で、人気の高い演目。



地下鉄東西線神楽坂駅 矢来口より徒歩2分
都営大江戸線牛込神楽坂 A1出口より徒歩5分
駐車場はございません。近隣のコイン駐車をご利用ください。